

お祭りたけなわ



八月 十四日 ふるさとまつり
 十月 二十三日 三嶋神社(中居)
 // 二十四日 天神社(天神)
 // 二十六日 春日(堀)
 // 二十七日 三島神社
 (川崎・川上)
 // 三十日 饒文化フェスティバル
 十一月 十三日 三杯谷の滝(川上)

右のとおり河辺村では、合計七つの祭りが行われます。

祭りといえば、昔は、各家庭においてご馳走をつくり、親族が一斉に集い、いっぽう子供達は、大勢で境内の近くで遊んだものでした。しかし、現在では、そのような光景は、あまり見かけなくなりました。

過疎化の進展に伴い、今後、地域の人々の祭りに対する関心も徐々に希薄化していくことが考えられますが、何とか、河辺の古き良き風習をありのままの形で、後世に伝えていきたいものです。



〈川崎三島神社の牛鬼〉

'94 11月

発行
 河辺村公民館
 ☎(0893) 39-2111
 内線 205・206
 佐川印刷 KK
 吉田町北小路
 ☎(0895) 52-0600

人のうごき
 (平成6年10月1日現在)

世帯数	550戸
男子	760人
女子	768人
計	1,528人

H5. 10.1~1,563 (△35)
 H4. 10.1~1,633 (△105)
 H3. 10.1~1,693 (△165)
 H2. 10.1~1,719 (△191)
 H元. 10.1~1,750 (△222)

田舎の秋祭りは、五穀豊穣を祝い、田園を彩る稲穂の中におねりの御輿の掛け声と、獅子舞や五つ鹿の笛太鼓の音に古き時代の叙情を思い起こさせる。

やねばし

祭り日、父は、早朝より井戸端に祭りのために新調したという調理台を出して、包丁をふるっていたし、母は、台所で客の馳走の献立に懸命になっていた。

祭りは、家族や親族が集まり、子どもや、ふるまい酒に酔った大人たちの歓声で村の人々の活気が満ち溢れていた。

祭りの行事の中でも私の記憶に残っているのは、御輿の先導をする「ダイバン」という鬼の面をつけた「若いし」との遊びだった。青竹を引きずり地面や見物者をたたいてまわる「ダイバン」なるものがなぜか怖かったが、子ども達は、それをてがって田畑の中を歓声を上げて駆けずり回った。

今は、人手不足で昔のような光景を見かけなくなってしまう。少年・少女に郷土を語る行事が徐々になくなっていく。

(三井)

龍馬ファン再び!!

龍馬は脱藩して大きくなった!!

「河辺村は、龍馬で、大きくなる。」もうすっかり、この言葉も村民の皆様や龍馬ファンにもおなじみのはずです。村上恒夫先生の衝撃的な脱藩の道解明の発表から、はや六年の歳月が過ぎました。このイベントも六回目となり、河辺村のビッグイベントとして定着するようになりました。

本年は、例年にない猛暑と渇水が影響したのか、参加者は、定員二百五十人を六十人下回る百九十人参加でのイベント開催になりました。出立式は、村長の出立あいさつ、龍馬役紹介、保存会副会長によるわらじの付け方、コース案内があり、そのあとの完全踏破宣言は、昨年に次ぐ最高年齢者の石水芳太氏(八十三歳)の力強い宣言で開会しました。

六回目を迎え、河辺村に定着したイベントとして、イメージアップに大きく貢献しています。この脱藩の道も全国に知られつつあるようです。毎年、県外から高知はもとより、大阪・京都方面の参加者も多くなりました。今年

は、遠くは横浜市からの参加者もあり、益々、坂本龍馬脱藩の道の地名度が高くなるにつれ、イベントにも箔がついてきました。

また、村内外の龍馬ファンに多大の協力を頂いております。村内では、毎年、老人クラブの皆さんに水筒を作って頂き、保存会役員や有志の方々による脱藩の道草刈り、整備等、数々の協力を頂きました。さらに、保存会副会長佐伯範男氏が自らの腕をふるって、龍馬の顔を彫刻して頂きました。

最後に、事前の準備、当日にご多忙にもかかわらず、ご協力下さいました関係者の方々に心からお礼申し上げます。

最後に、事前の準備、当日にご多忙にもかかわらず、ご協力下さいました関係者の方々に心からお礼申し上げます。



～わらじをはいてがんばりました。～

全国龍馬ファンの集い開催

十一月五日 (土) 六日 (日) の両日、北平の地域活性化センターをメイン会場に、ふるさとの宿や村内の坂本龍馬脱藩の道に、全国各地の龍馬ファンを迎えて「第六回全国龍馬ファンの集い愛媛・河辺村大会」が開催されました。

全国規模の大会が開催されるのは、初めてのことではありましたが、集いには、北海道から南は長崎まで、全国の龍馬研究会や、龍馬ファンの参加を得て、盛大に開催できました。

全国十六団体の龍馬研究会等の発表や個人発表は、それぞれユニークな活動報告がなされ、熱烈的な龍馬ファンの話は、実に興味深いものでした。また、「私の龍馬を語る」のパネルディスカッションには、龍馬ファンの集いならではの龍馬研究家の宮地佐一郎先生、龍馬の甥直寛の孫にあたる土居晴夫先生、坂本龍馬脱藩の道の解明者、村上恒夫先生が勢揃いのうえ、パ

ネリストを努めて頂き、龍馬ファン待望のものでした。ふるさとの宿での交流会では、長浜町の豊年踊りや、イチクレコード歌手の大林幸二の「奔れ龍馬」のアトラクションを皮切りに、それぞれの龍馬への思いを語り合いました。翌日は、榎ヶ峠、泉ヶ峠の脱藩の道と、泉ヶ峠、宿問までの脱藩の道体験の班に分かれ、龍馬の歩いた道を踏みしめ、感激もひとしおの思いで終了いたしました。

早速、届いたお礼の手紙の一部を紹介します。

拝啓！前略！この度は、全国大会出席にあたり、大変お世話になり、誠にありがとうございました。本当に心のこもった立派な全国大会で、当地に戻りましてからもまだ興奮さめやらぬ状態です。長崎から参加した者は、皆是非ともまた再訪したいと話しております。大会の準備、当日の運営など、御苦労が多かったことと存じますが、おかげで心に残る全国大会とさせていただきます。

まずは、略儀ながら御礼まで

十一月十日

敬 具

長崎市下西山町八一十七 織田 毅

河辺村でのファンの集いでは、いろいろとお世話になりました。おかげで、とても楽しい数日間を過ごすことができました。皆さんの暖かいもてなしがとてうれしかったです。どうかファンの集いの疲れを十分とって、お正月をお迎え下さい。ありがとうございます。

横浜市都築区中川 皆川真理子

いづれも、原文のとおりです。外にも沢山のお礼状が届いております。御協力を頂きました皆さんありがとうございました。

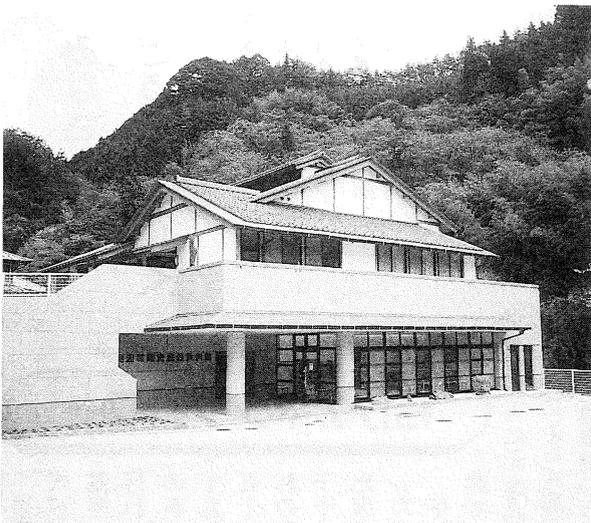


～龍馬について熱く語ろう。～

矢野清盛氏に 栄ある叙勲

このたび、河辺村教育委員矢野清盛氏が秋の叙勲で、十一月三日付けをもち、地方教育行政功勞により、勲五等瑞宝章を拝受されました。
その業績をたたえ、心から喜び申し上げます。

歴史民俗資料館
地域活性化センター併設



待望の歴史民俗資料館と 地域活性化センターが完成

このほど、北平小学校跡地に歴史民俗資料館と地域活性化センターが新築され、去る六月九日には落成の記念行事が盛大に行われて、翌十日からオープンし、ようやく待望の北平地域の新しい「シンボル」が誕生しました。
総事業は約一億九千九百万円を費やし、一階は鉄筋コンクリート造りの歴史民俗資料館（三八四平方メートル）、二階に木造の地域活性化センター（三三三平方メートル）を併設、一階の資料館はロビー、展示室、収蔵庫があり、昭和五十四年から収集してきた資料約七二二点のうち、今回、約六〇〇点を展示しており、なかでも特に目をひくのは、巨大

な立木式の木蠟製造機一式があり、明治、大正、昭和の木蠟製法を今に伝える貴重な資料として復元されています。
開館は午前八時三〇分から午後五時まで。
休館日は月曜日としており、来館者の対応として十月一日より、新しく館長に佐伯範男氏（☎三九一二四五）を委嘱し、また平日の管理者として山本カシ子氏（☎三九一二九四六）さらに、土日祝祭日は増本喜久男氏（☎三九一二七七八）に依頼して、来館者の対応をしていますので、お気軽にご来館ください。
二階の地域活性化センターはステージ付きの大広間、冷暖房完備の和室、調理実習室、倉庫などがあり、北平分館活動の拠点として、文化活動や軽スポーツを楽しめるとなっております。以来さまざまな形で利用されており、今後地域住民の「憩いの殿堂」として親しまれるよう、なお一層の有効活用が期待されています。

スポーツもできる
ステージ付き大広間



民俗資料がずらりと

国民年金制度 推進月間について

十月及び十一月は、「国民年金制度推進月間」です。

期間中は、県、社会保険事務所、市町村が一体となつて、住民の皆様が国民年金制度に対する理解を一層深めていただくための広報活動を県下各地で展開します。

人生八十年時代を迎えた現在、今後、予想される超高齢化社会に向けて、老後生活の安定を社会全体で考え、お互いに助け合っていく必要があります。

こうした状況で、公的年金制度の国民年金は、老後の所得保障として欠かすことができません。

国民年金制度は、「世代と世代の助け合い」の仕組みです。

二十歳から国民年金に加入し、保険料を収めることは、現在のお年寄りを支えるだけでなく、自分自身の安定した老後生活を確実なものにすることに なります。若い時からしっかりとした老後の生活設計をしましょう。

みなさん

どういふことか

※役場職員

氏名 寺野 裕明

出身地 寺敷中

所属課 公民館



氏名 大森 春美

出身地 百合谷

所属課 住民課



役職員紹介

☆教育委員長 大森 高知氏

☆人権擁護委員 大久保末広氏

☆民俗資料館長 佐伯 範男氏

☆愛媛県 P T A 連合会副会長

古野 青弘氏

翔け！ヤングパワー

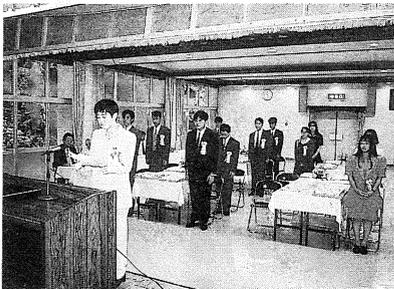
平成六年度の成人式が、八月十四日に基幹集落センターで行われました。今年の新成人は、昭和四十九年四月二日から五十年四月一日生まれの男子十八名、女子十名で、そのうち出席者は、十三名でした。

午前十時からの式典では、成人者一人一人に記念品が贈呈され、村長による式辞、来賓の方々から祝福激励の言葉を頂きました。最後に成人者を代表して、大野吏沙さんが謝辞を述べました。

式典後、記念撮影と懇親会が行われました。懇親会では、まず、成人者の皆さんが、氏名や今住んでいる所、勤務場所、仕事の内容や学校生活、将来の抱負など、簡単な自己紹介をしました。将来の抱負では、学校の先生や看護婦になりたいなどの目標を持つている人が多く、それらに向かって、今頑張っている最中ということが感じられました。自己紹介が終わると、青年会議所長の乾杯で会食が始まり、成人者の緊張もすつ

かりとれて、終始なごやかな雰囲気では進みました。気分は、まるで中学時代に戻ったようで、会場では思いついた話にはずんでいました。それにしても同級生というのには不思議なものです。同級生には、他の誰にも立ち入ることのできない、何かがあるような気がします。

成人者の皆さん、若い時にしかできないこと、若いからこそできることが、たくさんあると思います。その若さをエネルギーに、これからの人生を楽しく、時には苦しさも乗り越えていかねばならないことがあるかと思いませんか？成人式を迎え、皆さんは、自分なりに決意したことがあるかと思えます。その気持ちを大切に、夢の実現に向かって、ヤングパワーで頑張ってください。



～夢に向かって進んで下さい。～

敬老の式典及び敬老会

開催

今年も敬老の日の九月十五日に敬老の式及び敬老会を開催いたしました。今年も、諸般の実情や今後の高齢者の活動計画など考慮して、村内一ヶ所で開催することになり、四百九十四名の高齢者の方に案内をしましたが、二百八十一名のご出席をいただき、盛大に実施できました。敬老の式では、昨年九月十六日から一年間に亡くなった十九名の方々にご冥福をお祈りして、黙禱を捧げた後、記念品贈呈では、まず今年米寿を迎えられた方は、中大成の渡辺キク氏ほか十一名に対し、県知事から木杯が、村長から記念品が贈られました。さらに、九十歳以上の方々には、上大成の富永ラチエ氏ほか十五名、また最高齢者は、横山の新田宗太郎氏で九十九歳になりましたが、この方々にも村長から記念品が贈られました。

最後に、今年六十五歳になられた方には、益々のご長寿を記念して、社会福祉協議会長より白南天の箸が、植松の和氣満氏ほか三十五名全員に贈られました。受賞者の方々、おめでとうございます。今後、益々のご長寿を祈念いたします。

尚、当日会場において、村単独事業で昭和三十八年から実施しております敬老年金も支給され、八十歳以上の百九名に対して一万円を支給し、思わぬご祝儀に大変喜んでいただきました。

午後は、婦人会主催による敬老会が開かれ、まず、長浜町豊年踊りのご披露があり、婦人会の演芸会に移り、踊りに歌に劇あり、おまけに飛入りまであって、玄人に優る芸に拍手喝采の連続で終わりました。婦人会員の皆さんご苦労様でした。社会福祉協議会のご協力ありがとうございました。



～元気で長生きして下さい。～

館 分 伍 の 大 驚 異 の 4 連 覇

スポーツの秋、各分館の老若男女が一堂に集い、第三十回村民運動会が十月九日、河辺中学校グラウンドにおいて開催され、終日楽しくなごやかな雰囲気での汗を流しました。

河辺小学校の鼓笛隊七十

六名が先導する中、前年三連覇をした大伍分館を先頭に、各分館帽子等思考を凝らした選手団が入場しました。

栄野安広運営委員長の開会宣言の後、大野富士男大会長のあいさつ、長岡吉男副議長から激励のことばを頂き、大伍分館眞田耕志選手の力強い選手宣誓で競技を開始しました。

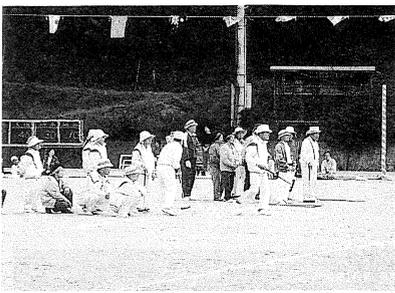
今回、新規種目として、「足何本？」が、十四名編成で行われ、初めてにしては、全員うまくできました。

また、職域綱引きでは、一チーム十人編成、トーナメント戦のルールで、五チームが

参加して行われ、結果は、河辺建設が日頃培った腕力にものを言わせて優勝しました。勝負が一瞬のうちに決まるといふ醍醐味があり、さぞかしご来場の皆さんも満喫されたことと思います。

例年、最後の綱引きの種目まで接戦が展開されるわけですが、今年も、二位以下の分館に大差をつけて大伍分館が四連覇しました。

大伍分館は、高齢化、過疎化が顕著に現れている地区ですが、このような成績が残せたことは、高橋分館長をはじめ、大伍分館全員の団結によつたものだと思います。このことは、スポーツだけでなく、あらゆることにつながると思います。今年の運動会は、そういう意味で大変意義のあるものになったと思います。



老人パワーも発揮して

インディアカ 県大会出場!

愛媛スポーツ祭'94に八幡浜地方大会が九月二十日三瓶町を会場に開催され、インディアカ・クロッケーが出場した。

インディアカについては、第一試合は、明浜町と対戦。一セット目は、敗れてしま

い、二セット目・三セット目を得り、見事勝利を収めた。第二試合は八幡浜Aと対戦した。手に汗を握る試合をしたものの敗れてしまいました。

一勝したということで決勝リーグに出場し、八幡浜Bと対戦。接戦に接戦でしたが、わずかな点差で敗れてしまいました。管内第三位の結果に終わり、県大会への出場権を獲得しました。



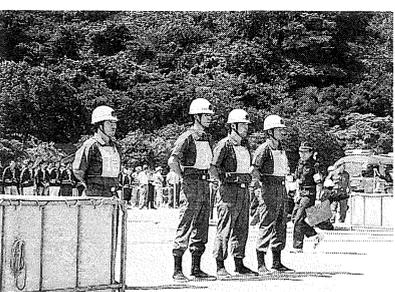
県大会出場権を手に入れて

県消防操法大会 第1分団堂々第6位

去る八月二十八日、愛媛県消防学校大規模訓練場において、第十八回愛媛県消防操法大会が開催されました。本村では、昨年の郡大会を勝ち抜いた第一分団が、大洲喜多の代表として大会に出場しました。

「去る八月二十八日、愛媛県消防学校大規模訓練場において、第十八回愛媛県消防操法大会が開催されました。本村では、昨年の郡大会を勝ち抜いた第一分団が、大洲喜多の代表として大会に出場しました。結果は、小型ポンプの部で出場十七チーム中、堂々の第六位と入賞こそ逃したものの、河辺の消防操法の歴史に大きな足跡を残したことは言うに及びません。大きな汗と固い結束が新しい歴史をつくったのです。」

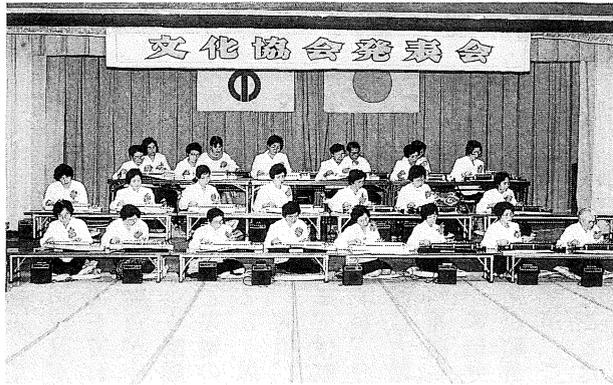
この夏、河辺は操法で熱くなりました。選手の皆さん、第一分団の皆さん、お疲れ様でした。そして、心よりありがとうございました。



～見よ！このりりしい姿を～

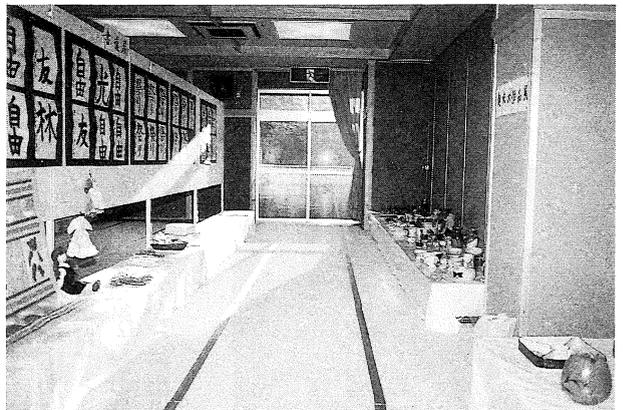
ました。六月七日からの約三ヶ月間、二十二回に及ぶ練習は、暑さと水との戦いでありました。操法は、規律はもちろんのこと、チームワーク、あと「操作始め」の号令から火点が倒れるまでのスピードが大切な点数となります。今年も例年になく水不足のため、練習に必要な水は、河辺川からミキサー車による汲み上げを必要としました。毎日、仕事が終わってからの水溜め。そして、運搬。選手、分団には、私達の想像を上回る苦勞いや努力があったことでしょう。そして、迎えた大会当日。スピードの伸び悩みはあったものの選手には「や

健康・文化フェスティバル



～上手にできました。～

十月三十日(日)、健康・文化フェスティバルが開催されました。
 これは、従来の産業文化祭と厚生省の補助事業の国民健康保険保健施設事業を取り入れて実施したものです。
 公民館の会場では、文化協会発表会、健康づくり講演会、お楽しみ抽選会、婦人会バザーなどが行われました。
 集出荷場の会場では、農林物産展、農林機具即売会が行われました。
 老人福祉センターの会場では、展示部門を中心に書道、絵画、華道、陶芸、短歌、健康測定・健康相談、ヘルシー献立、健康機具、趣味の作品が展示され、多くの観覧者の足を止めていました。
 なお、審査のあった、農林産物品評会の入賞者は次のとおりです。



～力作揃いです。～

河辺村長賞

トマト 中山 政義

河辺村議会議長賞

くり 帽子美代子

脇川地区林材業振興会議会長賞

乾椎茸 大川 昇

川上商工会長賞

こんにやく芋 宮岡 昇

大洲市農協河辺支所長賞

きゅうり 新 道春

河辺村森林組合長賞

生椎茸 宮岡 輝昭

えひめ

子育てセミナー

- | | | |
|----|------|-------|
| 金賞 | 乾椎茸 | 山本 明 |
| 〃 | 大根 | 稲田 秀一 |
| 銀賞 | 生椎茸 | 新 満夫 |
| 〃 | キウイ | 土居 満雄 |
| 〃 | 小豆 | 有友 治子 |
| 銅賞 | 生椎茸 | 片山 寛 |
| 〃 | 乾椎茸 | 本田 修 |
| 〃 | 大豆 | 城戸 照美 |
| 〃 | ゆず | 塚野キヨ子 |
| 〃 | くり | 神山誠一郎 |
| 〃 | つぐね芋 | 沖石マツ子 |

八月二十九日、河辺村公民館において、乳幼児をもつ保護者を対象とした「えひめ子育て教室」が実施されました。これは、育児についての不安や悩みだけでなく、乳幼児期の教育全般について学習するため、県下に専門の相談員を派遣し、共に話し合うことにより、健全なえひめの子を育成することを目的とし、愛媛県教育委員会の主催により行われたものです。



～見事なできじゃの～

愛媛大学医学部附属病院助手 岡田謙先生、愛媛県生涯学習推進講師 関家佐鶴子先生を講師に迎え、七名の保護者が、個別懇談により、友達がいけない、または、しつけについてなど、欠陥をもつ子供のみを対象とするのではなく、一般的な子育てのうえでの悩みについて、アドバイスを受けました。
 本村では、近所に子供の遊び相手がないなど、へき地がゆえの悩みを持つ保護者も多いのですが、恵まれた自然の中で、のびのびと大らかな子供を育てていきたいものです。

冠婚葬祭について学ぶ

九月二十二日、午後七時より青年の家において、冠婚葬祭の勉強会が行われました。

しかし、集まった仲間は、意外に少なく、このような会に参加したくても、仕事などの事情で来れない人もいることを残念に思いました。

人は、生まれてから死ぬまでに、いくつもの節目があり、その度に祝い事、弔い事などがあるわけです。冠婚葬祭といえ、私達の生活と切っても切れないものであり、おろそかにしてはいけない事がたくさんあります。ただ、その習慣の中には、世間体を気にして意味なく、派手になりすぎているものや本来の意味を無視したものもあるように思います。

大切なのは、講師の長平先生がおっしゃっていました。「相手を思いやる心がなければ意味のないものになりは、しないだろうか。」という事だと思えます。そのうえで、私達は、その意味を考えながら意義あるものに改めていく必要を感じました。

華やかに

交通安全鼓笛パレード!!

「ゆずりあう。心のゆとりで、事故防止」をスローガンに、秋の全国交通安全運動が九月二十一日〜三十日の十日間行われました。運動の重点は、一、高齢者ゼロ交通事故防止。二、シートベルトの着用



～交通ルールを守ろうノ～

用の徹底です。村では、この重点目標に沿って、交通安全屋、交通安全鼓笛パレード、高齢者教室を行いました。鼓笛パレードでは、指揮者の河小六年宮岡志津香さんを先頭に、全児童七十六人の参加のもと、元気にパレードを行いました、訪れた村民の皆さんから盛んな声援が送られました。最近の事故の特徴として、交差点、直線カーブの事故、安全確認不十分での事故、高齢者被害の事故などが多く発生し、今後、夕暮れ時間帯での歩行者事故が多くなると見込まれます。又、シートベルト不着用のドライバーが多く見られます。運動期間は終わりましたが、これからも歩行者、運転者の皆さん一人一人が、正しいルールとマナーで交通安全

まごころ銀行

平成六年七月から平成六年十月までに河辺村社会福祉協議会のみごころ銀行に対して「香典返しにかえて」と、次の方々から多額のご寄付をいただきました。(敬称略)

- 上久保 一、有友 允直
- 藤田 嘉誠、新田 清
- 新田宗太郎 (お礼返し)
- 藤田 豊寿、長岡 善男

寄付金額

三一〇、〇〇〇円

各位のご芳志に対し厚くお礼を申し上げます。

共同募金の実施

平成六年度共同募金運動が十月一日から十二月三十一日まで実施されます。市民の皆様の大なるご協力を得て、左記のとおり実績をあげております。

- 部落募金 九〇、三〇〇円
- 職域募金 (バッチ募金) 一二四、〇〇〇円

- 街頭募金 (村民運動会実施分) 二〇、〇一〇円
- 個人募金 一〇、〇〇〇円
- 合計 二四四、三一〇円

御協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



有料道路通行料金

障害者割引

制度の拡充

◎すべての身体障害者が、自ら運転する場合

割引措置を受けようとする方は、所定の申請書に必要事項を記入し、身体障害者手帳又は、療養手帳の所定の箇所

◎重度の身体障害者又は、重度の精神薄弱者を乗せて介護者が運転する場合
本人又は、家族がこれらの自動車

なお、介護者運転について割引措置を受けようとする方は、身体障害者手帳又は、療養手帳の所定の箇所に、介護者運転割引の対象であることを示す押印を受けて下さい。

ふるさとまつり

大盛況

恒例になった夏のイベント「ふるさと祭り」が八月十四日、ふるさと公園において催され、帰省された人々と共に、村民が一体となり、にぎわいを見せた一日でした。



～熱唱されました。～

午後三時から夜市とカラオケ大会予選がスタートし、三十一名の出場者がそれぞれ自慢の歌を熱唱され五名の方が決選大会に進まれました。

プロ歌手の竜鉄也さんとその専属司会の青空たのしさん、叶純子さんの審査するなか、堂々と五名の方が歌唱力

を競い合った結果、温泉郡重信町在住の片山清さんが「宴」を歌われて、見事最優秀に輝きました。

納涼盆おどり大会は、谷間にこだました太鼓の音に合わせて扇子おどり、里帰り客と共に輪になって盛況だった河辺音頭で祭り気分は最高潮。続いては、歌謡シヨで「奥飛騨慕情」の大ヒットで知られる竜鉄也さん、叶純子さんの歌声にうっとり。

祭りのフィナーレは、何と書いても河辺の花火。山々にこだまし、腹の底にズシリとひびくあの音は、今でも忘れられません。

終日、雨が降ったり、止んだりの繰り返しで、天気ははつきりとしなない一日でしたが、無事、滞りなく終了できました。ありがとうございます。

カラオケ大会の入賞者は次のとおりです。

最優秀賞 「宴」

片山 清 (重信町)

優秀賞 「一人旅立ち」

和田真由美 (松山市)

熱演賞

清水 照義 (大洲市)

久保 春好 (河辺村)

尾崎加代子 (松山市)

日本の マディソン郡の橋

ご存じですか。マディソン郡の橋、アメリカは、アイオワ州マディソン郡を舞台とした恋愛小説で、アイオワ州にある七つの屋根付き橋の写真を撮りにきたカメラマンと農婦との四日間の愛が感動的に描かれた小説です。この小説には、屋根付き橋が七橋登場しますが、河辺村にも屋根付き橋が六橋あり、これらの橋を日本マディソン郡の橋として売り出し中です。

週刊文春、週刊朝日、コミカフォーレグラフに掲載されるなど全国的に脚光を浴び、十一月には、国土庁の「ふるさと宝物」にも選定されました。

これらの橋を生活文化を伝える貴重な建造物として、ふるさと宝物として、今一度見直してみましよう。河辺村の良さが再発見出来そうです。



先日、戦死した父の五十回忌で、生まれ故郷の三久保へ帰りした時に、「ふるさとに望む」ということで、何でもよいから書いてほしいと言われ、幼い頃、優しく育ててくれた山や川、そして、泥んこになって手伝った田植えのことなど、懐かしく想いおこすと同時に、改めて河辺を離れてから過ぎ去った年月をふり返ってみる機会を得ることができました。

同じように村に残った人々が、私の故郷を守り、今日まで発展させて下さったおかげなのだ」ということに初めて、思い至った次第です。今改めて、皆様に心から「ありがとうございます」と言わせて頂きます。私と同じように、異郷の地で懐かし



ふるさとに望む

東京都江東区

玉井 貢

(三久保出身)

何処にいても故郷は心の泉です。河辺村の情報が何らかの方法で手に入れば、事が出来れば、ありがたいと思います。「特産品の情報」とか「故郷の家」のことなど知らない方もいらつしやるのではないのでしょうか。

頑張っているんだから」といつか、河辺の家をこれまで守ってくれた長兄の言葉に励まされながら、挫折しそうな心に鞭打って、遠い異郷の地、東京で人並みに妻をもらい、二人の子供を育てることができました。しかし、今こうして静かに考えていると、河辺村が昔と変わらぬ、優しく私を迎えてくれるのは、「長兄と

提案ですが、希望する方には、会費をとって故郷の情報盛り込んだ「情報誌」を送って頂くようにできないものでしょうか。そのなかから、故郷を遠く離れていても、お手伝い出来ることを発見できるかもしれません。

か わ べ

診療所だより

日を増すごとに、秋が深まっています。山々に紅葉が始まり柿や栗のとれる実りの秋です。食欲の秋には、つつい、食べ過ぎてしまいが、適正量を上回らないように、栄養バランスがとれた食生活を守りましょう。



★日常生活の中で、疲れたかなと思つた時に、音楽が聴きたいという気になるのは、誰しも経験されていると思います。以前から、音楽は人の生活の中で大切な役割を果たしてきました。音楽は手軽なストレス解消法です。心地よい音楽を聴いたり、楽器を演奏したり、歌を歌ったりして上手にストレスを解消しましょう。

音楽なら心がいやされ、ストレス解消になります。

音楽の持つ効用を利用して医学的な治療の場面で音楽が用いられることがあります。音楽を聴いたり演奏したり、歌ったりすることは、楽しいレクリエーションとなり、脳の細胞を活性化させたり、運動機能を改善するのに役立っています。



★定期健診のススメ

四十歳を過ぎたら、定期的な体のゆがみを総合チェック！市町村などの自治体の定期健診では、次のような検査を無料で受けることができます。

○基本診査

血圧測定、検尿、血液生化学検査、眼底検査、心電図。

○肺がん検診
胸部レントゲン撮影

○胃がん検診
胃レントゲン撮影

○大腸がん検診
便潜血反応

○子宮がん検診

○乳がん検診

最近では、有料ですが、自治体健診の検査項目プラスアルファを半日〜一日で検査してくれる病院での総合健診Ⅱ人間ドックを受ける人も増えてきました。

血圧や身長、体重の測定、尿や血液の検査では、基本的な白血球や赤血球の数の検査、肝機能、腎機能、総コレステロールなどの生化学検査、胸部や胃のレントゲン検査の他に上腹部超音波検査などを行います。その後、すぐわかる結果を医師が説明し、数日後に総合判定が送られてきます。

健診では、肺や胃、肝臓、腎臓などの状態、高血圧や糖尿病などの状態がわかりますが、急性の病気、急速に進行

する病気、発見しにくい病気などは、健診でわからないことがあります。また、脳血管障害や骨粗鬆症など検査の対象外の病気は、健診を受けてもわかりません。

健診は受けた後の対応が大事です。検査結果の異常は、体にゆがみがでていることを示します。早目に医師に相談して対策を講じ、日頃の生活の仕方をチェックしましょう。

★お酒と上手につきあう方法
「酒は百薬の長」ともいわれ効果もありますが、飲み方によっては、害あつて益なしです。

すでに糖尿病、肝臓病、腎臓病のある人は、担当の医師の指示を守っていただきたいのですが、健康な人が障害を防ぐためには、一日あたりビールなら中びん一〜二本、日本酒なら一〜二合程度にします。休刊日も作りましょう。また、「日本酒より焼酎のほうがよい。」などと、よしあしをいう人もいますが、酒の種類による区別なく、アルコール度数に応じた適量を守ることです。

く、修復に役立つたんぱく質がお奨めです。また、酒とおつまみだけでは、糖質が不足し、栄養のバランスを崩すので、ご飯か麺類、芋類なども食べましょう。どうしても不足しがちな野菜料理をしっかりと摂る習慣もほしいものです。飲んだあとの果物も二日酔いを防ぐ助けとなります。要は、おつまみを食べながら薄めのお酒をゆつくり飲む、そして、量を過ぎさないことが健康的な飲み方といえるでしょう。

★感染症情報
今回の予防接種法の改正で義務としての接種から保護者の理解、同意を得たうえでの接種へと転換し、個別接種の推進が行われます。

インフルエンザの予防接種は、今後は、接種希望者が任意に医療機関において接種を受けることとなります。

接種にあつては、予診が今まで以上に徹底されます。

○特筆すべき多発している疾患はありません。

感染力下痢症は、八幡浜、宇和島地区で多くみられますが、病原体は、分離されていません。

郵便局からお知らせ

去る九月二十六日、ふるさとの宿において、日本赤十字社、愛媛県支部、門屋征洋教師による「かんぽ介護家庭教室」を開催して、百四十名の参加を頂きました。ありがとうございました。

○十一月一日から年賀葉書を発売しております。絵入葉書数量が少ないので、お早目にお買い求め下さい。

○年賀葉書は、十二月二十三日ごろまでにお書きいただいて十二月二十四日ごろまでにお出し下さい。

○年賀葉書新春プレゼントを昨年同様実施いたします。内容は、平成六年十二月十五日から同年十二月二十四日までに郵便局窓口、郵便ポストに差し出される応募券と束ねられた五十通以上の年賀郵便物とします。応募券は原則として、窓口等において、年賀葉書を購入

する際、五十枚以上の方に一枚の応募券をお渡しします。抽選は、平成七年一月十日、四国郵政局で第三者立会のうえ実施します。賞品は、真珠製品(タイピン兼ブローチ)です。

○郵便番号、あて名は所定の位置に正しく丁寧にお書き下さい。

○貴重品を内容とするものは必ず書留で、急ぎの郵便物や生もの小包については、速達でお出し下さい。



〈かんぽ介護教室〉

短

朝夕に水かけつつけようやくに

食するだての野菜たもてり

うた詠むを生甲斐として励みしも

今は淋しさ紛らわすだけ

朝夕に通りし家の黒犬と

ほどよき仲となりて戯むる

転びたるバケツ戻りし隣家より

庭木みな異常気象に耐えぬいて

木犀香り祭り近づく

椎茸の菌入れ済みし昼さがり

疲れをさそう松蟬の啼く

上林ヨシ子

大西ミツマ

戸田 薫明

久保ミヤ子

清水 孝

清水 菊江

歌

☆お誕生日おめでとう

山崎 翔太 長崎 父千賀雄

智葉 雅仁 植松 父雅 敬

☆おくやみ申し上げます

新田 邦子 横山 66歳

松林 輝茂 植松 64歳

松岡ヤエコ 帯江 79歳

藤田 藤好 百合谷 66歳

長岡タマヨ 椋谷 89歳

松尾 正江 中居 63歳

消息

自 6.7.11
至 6.10.10

同和教育シリーズ (51)

同和対策基本法
(仮称案)とは (3)

次に、「同対審答申以降における取組の成果としてあげられるのは、教育の面でも一定の改善が達成されたという点です。

高校進学率を例にとりますと、「同対審答申が出される二年前(一九六三年)の進学率は、約六十六・八パーセントで、そのうち被差別部落の進学率は、約三十パーセントに過ぎないという低位

な状況でしたが、部落解放運動が、部落の教育向上に力を注ぎ、特に高校進学促進に取組み、その一貫として、高校、大学に進学するための奨学費制度を国や地方自治体に設置させることに成功しました。

その結果部落の高校進学率は急速に高まり、一九七五年には、全国の九十一・九パーセントに対し、八十七・五パーセントにまで達しました。

次に、就業面を考えてみます。同対審「同対審」答申以降の二十数年間を振り返って、部落の就業等の問題を考えた時、最大の出来事は、「部落地名総監」差別事

件でしょう。この事件は、一九七五年十一月に判明されたものですが、その後の糾明活動によって、八種類に及ぶ「部落地名総監」の存在が、明らかにされました。

これらの作成・販売者は、興信所・探偵社で購入された数は二百二十三冊(判明されたもの)に及びました。もちろん、購入者の大半は企業です。これらの企業が、部落地名総監を購入した主な動機は、人の採用にあたって部落出身者を排除するためであったのです。(河辺村同和教育協議会)